

審議会等の会議の記録

会議の名称	学校給食運営委員会
開催日時	令和7年2月5日(水) 14時
開催場所	第一学校給食調理場
出席者	<p>【委員 11名】 山洞広美委員、里見哲也委員、飯野託未委員、内山令美委員 山口智恵子委員、高木剛委員、門下鉄也委員、松村輝雄委員 新井勝委員、古澤房江委員、吉田喜美代委員 欠席者4名</p> <p>【事務局・調理場関係者 14名】 三好教育長、小林教育部長、二上教育部副部長、百瀬健康給食課長、 足尾学校給食係長、後藤主査、(第一東)横澤栄養士、(第一西)佐藤栄養教諭、 (第二)毒島場長、伊賀栄養士(境第一)細井場長、 (境第二)磯部栄養士</p>
傍聴人数	0人
会議の議題	<p>報告事項 (1) 学校給食調理場の衛生管理について (2) 令和6年度食に関する指導の取組について</p> <p>協議事項 (1) 令和7年度学校給食の実施計画(案)について (2) 令和7年度学校給食年間指導計画(案)について</p>
会議資料の内容	・ 令和6年度第2回学校給食運営委員会会議資料
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p>1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 議長：山洞委員長</p> <p>(1) 報告事項 ア 学校給食調理場の衛生管理について ・ 群馬県教育委員会による学校給食安全管理巡回指導の結果 ・ 学校薬剤師による学校給食施設定期点検の結果 ・ 外部機関による検査 ・ 健康給食課主催の衛生講習会</p> <p>【質疑応答なし】</p> <p>イ 令和6年度食に関する指導の取組について</p>

【質疑応答の概要】

その後質疑応答

委員：食に関する指導は、本当に現場の方々が子供たちに食育という観点で色々教えていただき大変かと思います。食育というのは、子供の成長ということだけではなくて、一生ついて回るもので生活習慣病予防ということでも個人個人の食事とか健康に対するいわゆるリテラシーということであり、そういった知識を得るということは本当に大切なものだと思っていますので、これは続けて頂きたいと思います。その上で、今までのお話の中で、調理場では物価高騰に伴う食材費の高騰や、人員の問題、そういったものがあると感じています。もしかしたら、協議事項に絡んでくるかもしれないですけども物価高騰ということに対して、どこまで公的なお金を入れて、質を落とさずに子供たちの健康、栄養バランスを向上させるということまでどれくらいの公費が入っているか、さらに今後物価に合わせて上げていく予定があるのか伺いたい。

事務局：物価高騰の件ですけれども、協議事項の9ページをご覧ください。学校給食食材費の公費支援について、令和7年度の公費補填のことについて記載しております。今年度は、児童生徒1食当たり60円、年額1人当たり12,000円の公費の支援を実施しているところです。令和7年度につきましては、米や牛乳、パンなどの価格の上昇が見込まれております。このことからさらに25円を追加で上乗せいたしまして公費補填は1食当たり85円になります。年額にしますと1人当たり17,000円です。こちら全体の市の負担で考えますと児童生徒分で約2億8千万円が公費補填として給食食材費に充てられることとなります。この公費補填につきましては令和4年度から実施をしております、年度の状況にあわせて公費補填をしているところですが年々増加いたしまして、令和7年度は85円になります。保護者の給食費については値上していないものの給食費単価につきましては県内でみますと平均を推移している状況でございます。

委員：この額がずっと質を担保していくために本当に必要な額なのか現場の人たちはどう感じているか伺いたい。

事務局：今まで、食材の材料につきましては通常の入札のほか、見本提出といたしまして、それぞれ食材を実際に食べてみて比較する。そのような入札の方式を取り入れております。勿論安価なものを選ぶわけですが、味や見た目、使いやすさ、そういったものを入札の条件に取り入れ、これまで給食の質を落とすことなく提供できているところですが、今後さらに物価の上昇等が考えられますと質を落とすことに繋がりがかねませんので、その辺については今後注視しながら手続等を進めてまいりたいと考えております。

(2) 協議事項

ア 令和7年度学校給食の実施計画(案)について

- ・令和7年度学校給食センター事業費(一般会計)要求額
- ・令和7年度給食回数計画表(調理場稼働日数表)(案)

【質疑応答の概要】

委員：昨年の選挙以降、学校給食の無償化が野党の方から出てまして、その時学校給食の無償化は全国の自治体の3割から4割が無償化しているとのことでしたので、今後国として全国的に取り組むかは分かりませんが。それに先立って伊勢崎市は無償化に踏み切ったことは非常によろしいことだと思います。この辺のところは比較的一般の住民の方にも理解を頂けるのではないかと思います。ただそれなりの説明は必要ではないかと思いますが、このようなことに力をかけて子育て支援をしている伊勢崎市の姿勢がよく見えているかなと感じる。なるべく早く小学生も無償化していただければと思います。

イ 令和6年度学校給食年間指導計画(案)について

【質疑応答なし】

4. その他

5. 閉会